

2018 年度奨学生募集要項

1. はじめに

公益財団法人アイザワ記念育英財団は、学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な大学生及び大学院生（外国人留学生を含む）に対し、奨学援助を行い、もって外国との友好親善及び社会有用の人材を育成することを目的としております。

奨学金の給与を希望する者は、この「2018 年度奨学生募集要項」に従って出願して下さい。

2. 事業の内容

本財団の主な事業は、奨学金の給与並びに奨学生の指導及び相談です。大学生及び大学院生の中から奨学金を必要とする適格者を選んで給与し、奨学生の資質の向上を図るために適切な指導と研修を行っています。

3. 出願の資格

本財団の奨学生となる者は、次のいずれにも該当していなければなりません。

- (1) 日本国内の大学又は大学院に在学している大学2年生以上の者(注1)
- (2) 人物、学業ともに優れている者
- (3) 経済的理由により修学が困難であると認められる者
- (4) 将来、産業・文化両面において社会に貢献しようと志す者
- (5) 他の団体等より奨学金を受けていない者(注2)

(注1) 別科生、選科生、聴講生を除く。

(注2) 日本学生支援機構の奨学金、各大学の授業料減免、児童養護施設退所者等に対する自立支援資金及び外国人留学生が派遣国政府より受ける奨学金については可。

4. 奨学金の給与月額と給与期間等

- (1) 給与の月額
大学奨学生 月額 30,000 円
大学院奨学生 月額 45,000 円
- (2) 給与の期間
奨学金の給与期間は、採用時から正規の最短修業年限の最終期迄です。
- (3) 奨学金の交付
財団が定めた月に直接本人に交付又は送金します。
- (4) 奨学金の休止、停止又は廃止
奨学生が休学し又は長期に渡って欠席したとき、学業等の状況により指導上必要があると認めるとき、留年又は卒業延期の恐れが生じたとき、本財団の指定するレポート等の提出義務を怠ったとき等の場合は、その状況に応じ、奨学金を休止、停止又は廃止します。なお、事由によっては支給した奨学金の返還を求めることがあります。

5. 出願の手続き

奨学金の給与を希望する者は、次の書類を整え、在学する大学を経て出願して下さい。個人からの直接の出願は受け付けておりません。詳細は大学窓口におたずね下さい。

- (1) 奨学生願書
- (2) 論文
『大学での学業状況と将来の夢について』
A4用紙40×40字で2枚、3000字程度
- (3) 学業成績証明書
- (4) 在学証明書
- (5) 在学する大学長又は担当教授の推薦書
- (6) 住民票
(現住所が住民票と異なる場合は、賃貸契約書のコピー又は大学が発行する居住証明書を添付すること)
- (7) 在留カードの写し(留学生のみ)
- (8) 前年度の所得の証明書(コピー可)
(源泉徴収票、確定申告書、自治体の所得証明書等)
- (9) 日本学生支援機構奨学金の受給内容を証する書類の写し(受給者のみ)

6. 選考と採用

- (1) 選考
奨学生の選考は、奨学生選考委員会の書類及び面接審査にて行います。
- (2) 採用
奨学生の採用は、奨学生選考委員会の選考を経て、理事長が決定し、その結果を、理事長より推薦大学を通じて出願者に通知します。

以上

公益財団法人アイザワ記念育英財団

〒103-0027 東京都中央区日本橋1丁目15番3号組橋ビル2階

TEL: 03 (3272) 5067 FAX: 03 (3272) 5068

URL: <http://www.aizawa-ikuei.org/>

願書の書き方

1. 基本事項

- (1) 記入は黒又は青のペン又はボールペンを使用して下さい。
- (2) 願書には、出願時現在の状況を記入して下さい。また、日付は全て西暦で記入して下さい。
- (3) 記入すべき事項が書かれていないときや、判読しにくいなど願書に不備がある場合は、選考から除外します。また、内容に虚偽の記載がある場合には、採用後であっても遡って採用を取り消します。
- (4) 写真は、白黒・カラーいずれでも可。ただし、3ヶ月以内に撮影したものを使用して下さい。
- (5) 「本人住所」「家族住所」について
 - ① 番地、棟号、室番や〇〇方まで書いて下さい。
 - ② 家族住所は、主たる家計維持者の住所になります。ただし、主たる家計維持者が、勤務の関係等で一時的に家族と別居している場合には、家族の住所を記入して下さい。
 - ③ E-mailは必ずPC用のものを記入して下さい。携帯メールは不可です。

2. 家族・収入

(1) 「就学者を除く家族」欄について

- ① 死亡・生別の場合でも、必ず父母の欄には記入して下さい。
- ② 生計を一にする家族は、同居・別居を問わず全員記入して下さい。別居独立の生計を営む兄弟姉妹や、生計を一にしない別居の祖父母は記入する必要はありません。
- ③ 出願者本人が家計維持者の場合には、出願者本人も記入して下さい。
- ④ 「現在の職業」は、食料小売業、理容業、国家公務員、地方公務員、小学校教員、会社員などと具体的に記入して下さい。なお、主婦、家事手伝い、無職等もその旨を記入し、空欄にしないで下さい。
- ⑤ 「勤務先名」は、〇〇商店、〇〇会社、〇〇省〇〇局、〇〇小学校などのように記入し、自営業等の場合には、〇〇商店経営、〇〇会社社長、などと記入して下さい。
- ⑥ 「年収」は、2017年分(平成29年分)の収入を記入して下さい。年収は、税金や社会保険料等を差引く前の金額で、手取額ではないので注意して下さい。
 - a) 2017年の途中で退職・転職等又は新たに就職した場合には、欄外に出願年2018年分(平成30年分)の収入見込みも記入し、その旨コメントを付して下さい。
 - b) 千円未満の端数は切り捨てます。
 - c) 「年収」には、年金(恩給・老齢年金・遺族年金等を含む)傷病手当金、生活保護法による扶助料、失業給付金を含みます。
 - d) 所得の証明書類は、生計を一にする家族のものを全て添付して下さい。

(2) 「就学者」欄について

就学者とは、次に在学する者をいいます。

「小・中・高校・高専・大学(大学院・専攻科・別科を含む。放送大学については全科目履修生に限る。)盲・ろう・養護学校、専修学校(高等課程・専門課程)」

(注) 上記以外の専修学校一般課程および各種学校(予備校・職業訓練校・その他)

などに在学する者は(1)「就学者を除く家族」欄に記入して下さい。

3. 本人の収支状況（月額）

- (1) 収入、支出について
直近6ヶ月程度における、1ヶ月平均の収支状況を記入して下さい。
収入と支出の計は必ず一致させ、一致しない場合には「その他」の欄にその差額を記入し、主な理由を内訳に記して下さい。
- (2) 授業料・学校納付金（年額）について
年額を記入し、下部の「上記出所の内訳」と合計額を一致させて下さい。
- (3) 「学費免除」等の欄は、当てはまるものに○を付けてください。

4. 本人の学歴

高等学校、専修学校（高等課程）卒業または大学入学資格検定合格後の学歴を入学後の休学・転学・退学等も含めて漏れなく記入して下さい。予備校在学、自宅研修等の期間がある場合には、それらの期間も記入して下さい。

5. 家庭事情

- (1) 奨学金を希望する事情や、願書の他の欄に記載できなかった事項を記入して下さい。
- (2) 「家計収入が就学者の収入のみの場合」とは、本人（出願者）と生計を一にする世帯で所得を得ている人が、本人のみ又は本人と他の就学者のみの場合をいいます。

6. 連帯保証人

- (1) 連帯保証人は、父母兄弟等の親族で、就学者以外の成年者の方にお願ひして下さい。親族の選定が不可能な場合には、これに代わる人物（出願者と連帯して責任を取ることのできる人物）を選んで下さい。
- (2) 連帯保証人は、自署・捺印の際には、必ず実印を使用して下さい。出願者が採用された場合には、連帯保証人の印鑑登録証明書を1通提出していただきます。

以上

2018年度(公財)アイザワ記念育英財団奨学生願書(1)

国内大学生用
留学大学生用

フリガナ		性別		生年月日		(本人写真) 3ヶ月以内を貼付 縦4cm×横3cm				
氏名				年 月 日 (満 歳)						
本人住所		〒()電話番号 - - 携帯 - - E-mail(PC) @								
家族住所		〒()電話番号 - - FAX - - 都道府県								
在学学校						学籍番号記載欄				
大学 年 学部 学科 昼・夜(○で囲む)										
家族・収入	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	現在の職業 (主な職業)	在籍	勤務先名	勤務先TEL	年収 千円	
		父			(主たる収入)	年			千円	
					(その他の収入)					
		母				(主たる職業)	年			千円
						(その他の収入)				
							年			千円
					年			千円		
※ 主たる家計維持者の「続柄」に○印を付けて下さい。 (1) 父母が死亡の場合、その年月(年 月)、遺族年金(受給・無受給・申請中)(年額 千円) (2) 父母が生別の場合、その年月(年 月)、生計支援(有・無)(年額 千円) (3) 主たる生計維持者が失職の場合、その年月(年 月)失業の理由() 失業保険(有・無・申請中)(受取総額 千円) 就業見込(有・無) (4) 家族居住の区分(持ち家・借家・借間・社宅)										
就学者	続柄	氏名	年齢	在学学校名			学年	通学形態		
				立			年	自宅通学 自宅外通学		
				立			年	自宅通学 自宅外通学		
本人の収支状況(月額)					授業料・学校納付金(年額)					
収入			支出		授業料		千円			
家庭	千円	食費	千円	学 校 納 付 金	千円		千円			
アルバイト	千円	住居費	千円	計	千円		千円			
(職種)		交通費	千円	《上記出所の内訳》						
日本学生支援機構奨学金	千円	書籍・学用品	千円	()から(千円)						
その他	千円	その他	千円	()から(千円)						
(その他の主な内訳)			(その他の主な内訳)		学費免除		全額・一部・申請中・無			
					児童養護施設退所者等に対する自立支援資金		生活費貸付・家賃貸付・無			
計			計		外国政府からの奨学金(外国人留学生のみ)		無・有:(千円/年)			

平成 年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推薦書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

所属	筑波大学	学群	学類	研究科	年次
	_____	課程	_____	_____	_____
氏名	_____				

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

指導教員等	所属	氏名	印
_____	_____	_____	_____

家 庭 調 査 書

申 請 者	所属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____									
	学籍番号	_____	性別 男・女								
	フリガナ	_____									
	氏名	_____	_____								
		課程 _____	研究科 _____	専攻 _____	年次 _____						
		現住所	〒 _____	TEL (_____) _____							
		家族住所	〒 _____	TEL (_____) _____							
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏名	年齢	職業	在職期間	勤務先名称	給与所得の収入金額 (税込)	給与所得以外の所得金額		
		父				年			万円	万円	
		母					年		万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合		時期 (年 月)	理由 (_____)						
		主たる家計支持者無職等の場合		時期 (年 月)	理由 (_____)						
						年			万円	万円	
						年			万円	万円	
						年			万円	万円	
						年			万円	万円	
		別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏名	年齢	学校名	設置者別	学校種別	通学別	控除額
本人					筑波大学	国立		※自宅 ※自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 ※自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 ※自宅外	万円		
						※国公立 私立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自宅 ※自宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無								
	障害者がいる世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()					万円		
	その他										
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)								
	アルバイト		月額 (千円) 内容 ()		総収入金額		① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 ()		必要経費		② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 ()		特別控除額		③ 万円				
その他の収入		月額 (千円) 内容 ()		総所得金額		④=①-②-③ 万円					
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数 人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤ 万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。